氏名	舩守有香
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第1961号
学位授与の日付	平成11年3月31日
学位授与の要件	医学研究科社会医学系公衆衛生学専攻 （学位規則第4条第1項該当）
学位論文題目	Molecular Typing of Enterohemorrhagic *Escherichia coil* O-157:H7 Isolated in Okayama Prefecture by Using Pulsed Field Gel Electrophoresis and Random Amplification of Polymorphic DNA （岡山県で分離された腸管出血性大腸菌O-157:H7のパルスフィールドゲル電気泳動法とRAPD法による分子疫学）
論文審査委員	教授 青山 英康 教授 山田 雅夫 教授 辻 孝夫

学位論文内容の要旨

岡山県では、1996年から1998年にかけて、腸管出血性大腸菌O157：H7感染症の集団発生3件と多くの散発例が見られた。集団発生例から分離されたO157: H7 33株、散発例15例から分離された15株、高知県で牛の枝肉から分離された2株、岡山県内の牧場で飼われていた乳牛から分離された10株を用い、RAPD（random amplification of polymorphic DNA）法およびPFGE法（pulsed field gel electrophoresis）を用い、これらの感染経路を特定を試みた。PFGE法によって、臨床分離株60株は10のグループに、乳牛からの分離株は5グループに分類された。散発例分離株と牛枝肉からの分離株がPFGEパターンは一致したが、その他の臨床分離株と乳牛からの分離株ではPFGEパターンは一致しなかった。また、集団発生以前の散発例と集団発生例分離株でも一致を見たものがあった。岡山県内での腸管出血性大腸菌O157: H7感染症発生において、地理的条件・時系列の異なるものが多く見られた。

論文審査結果の要旨

本研究は1996年5月に岡山県邑久町の小学校における集団発生以降、全国的な拡大が大きくマスコミに取り上げられて社会的な注目を受けた腸管出血性大腸菌について、その集団発生例と散発例から採取した分離株についてRandom amplification of polymorphic DNA（RAPD）法及びPulsed field gel electrophoresis（PFGE）法を用い、分子疫学的考察を試み、散発例と集発例との関連を明らかにする知見を得たことは公衆衛生学的に価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。